

相模原市総合計画の進行管理等に係る 市民アンケート調査

【調査協力へのお願い】

日ごろから、市政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

相模原市では、総合計画に掲げている施策の進行管理を行うため、市の施策や事業について、市民の皆様のお考えやご意見をおうかがいして、成果指標の達成度を測るとともに、施策の評価を行い、今後の事務事業や施策の改善を図ってまいりたいと考えております。

この調査をお願いするにあたりましては、住民基本台帳及び外国人登録原票に記載された20歳以上の市民の皆様の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は、「このような意見の方は全体の何%」という統計的な形で報告書としてまとめますので、お名前が出ることはございません。また、調査目的以外に利用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年5月

相模原市長 加山俊夫

ご記入にあたってのお願い

この調査は、できるだけ封筒のあて名の方にご回答をお願いします。事情によって、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

ご回答にあたっては、該当する番号に 印をつけてください。

この調査票は**平成24年6月1日(金)**までに同封の返信用封筒に入れてご返送ください(切手を貼る必要はございません)。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



【問い合わせ先】相模原市 企画市民局 企画部 企画政策課

〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号

TEL (042)769-8203 FAX (042)757-5727

Eメール kikaku-3@city.sagamihara.kanagawa.jp

総合計画の目標達成度について

平成22年4月にスタートしました「新・相模原市総合計画」では、福祉や教育など各分野の達成目標の一部を、市民の満足度による具体的な数値（成果指標）として定めることとしました。

以下の設問につきましては、各施策における現在の目標達成度を把握するため、お聞きするものです。

【基本目標】

『誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市』

問1. あなたは、地域での福祉活動で、互いに助け合い支え合いができていますか。

1. できている
2. どちらかといえばできている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばできていない
5. できていない

問2. あなたは、相模原市が、子どもを生みやすいまちだと思いますか。

1. はい
2. いいえ

問3. 「いいえ」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（はいくつでも）

1. 医療体制が不十分
2. 経済的な支援が不十分
3. 相談体制が不十分
4. その他（ ）

問4. あなたは、高齢者が、地域の人達（近隣住民、自治会、ボランティア、民生委員など）に見守られ、支えられながら暮らしていると感じていますか。

1. 感じている
2. やや感じている
3. どちらともいえない
4. あまり感じていない
5. 感じていない

問5. あなたは、自分の健康状態について、どう思いますか。

1. 健康である
2. まあ健康である
3. どちらともいえない
4. あまり健康でない
5. 健康ではない

問6. あなたは、健康のために何かしていますか。

1. している
2. していない

問7. 「している」とお答えの方にお聞きします。具体的にどのようなことをしていますか。（はいくつでも）

1. 朝食を食べる
2. バランスの良い食事を心がけている
3. うす味を心がけている
4. 定期的な運動を行う。まめに身体を動かす
5. 十分な睡眠をとっている
6. ストレスを解消する手立てをもっている
7. たばこを吸わない
8. 飲酒は適量を守る。または飲まない
9. 歯と歯肉の健康を保つよう心がけている
10. 適正体重を維持するよう心がけている
11. 定期的に健診・がん検診を受けている
12. その他（ ）

問8. あなたは、安心して医療を受けられていると感じていますか。

1. 感じている
2. どちらでもない
3. 感じていない

問9. 「感じていない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（はいくつでも）

1. 医療機関の情報が不足している
2. 相談できる「かかりつけ医」がいない
3. 医療機関が少ない
4. 救急医療体制が不十分
5. 医療費の助成制度が不十分
6. その他（ ）

問10. 悪質な訪問販売、架空請求など悪質巧妙な手口による消費者被害が増えています。あなたは消費者被害に自分自身もしくは家族があわないように注意していますか。

1. 注意している
2. 注意しているが、具体的なことはしていない
3. 注意していない

問11. 「注意している」とお答えの方にお聞きします。具体的にどのようなことをされていますか。（はいくつでも）

1. 不審なことがあったときには、市の消費生活センター等に相談している
2. 消費生活講座等の学習会に参加している

3. 消費者トラブル防止のパンフレット等で学んでいる
4. テレビやラジオで、悪質商法などの情報を得ている
5. 被害にあわないよう、家庭で話している
6. クーリング・オフなどの制度を知っている

問12. あなたは、災害に対してどんなことを備えていますか。(はいくつでも)

1. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
2. 食料や飲料水を準備している

3. 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
4. いつも風呂の水をためおきしている
5. 家族との連絡方法などを決めている
6. 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
7. 消火器や水をはったバケツを準備している
8. 貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している
9. 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
10. 防災訓練に参加している
11. 耐震性のある住宅に住んでいる
12. その他()

この枠内は、18歳未満の子どもがいる保護者の方のみお答えください。

問13. あなたは、相模原市が子育てしやすいまちだと思いますか。

1. はい
2. いいえ

問14. 「いいえ」とお答えの方にお聞きます。その理由は何ですか。(はいくつでも)

1. 安心して子どもを遊ばせられる場所が少ない
2. 必要なときに子どもを預けられる人や場所が少ない
3. 親自身が友達や子育て経験者と知り合う機会が少ない
4. 子どもを守る環境が不十分である
5. その他()

小学生以下の子どもがいる保護者の方のみお答えください。

問15. あなたは、必要なときに、子どもを預けられる人や場所がありますか。

1. ある
2. ない

問16. 「ある」とお答えの方にお聞きます。具体的にどのような人や場所ですか。(はいくつでも)

1. 保育園、幼稚園
2. 児童クラブ
3. ファミリーサポートセンター
4. 近所の知人、友人
5. 親、親戚
6. その他()

小学生から中学生の子どもがいる保護者の方のみお答えください。

問17. あなたは、子どもとのコミュニケーションが十分だと思いますか。

1. 十分だと思う
2. 十分ではないが、不足しているとは思わない
3. 不足していると思う

問18. あなたの子どもは、次のどちらですか。

1. 小学生
2. 中学生
3. 両方

子どもとのコミュニケーションをとるために、行っていることや工夫していることがあればご記入ください。



【基本目標】

『学びあい 人と地域をはぐくむ教育・文化都市』

問19. あなたは、過去1年間に地域で子どもに関わる活動をしていますか。

- 1. 活動している
- 2. ときどき活動している
- 3. 活動していない

問20. 「活動している」「ときどき活動している」とお答えの方にお聞きます。具体的にどのような活動をしていますか。(はいくつでも)

- 1. 小・中学校を支援するボランティア活動や教育活動をしている
- 2. 子どもの登下校時の安全見守り活動をしている
- 3. 子ども会やスポーツ少年団などで育成活動をしている
- 4. 公民館やこどもセンターなどで子ども向け行事を実施している
- 5. 幼稚園や学校のPTA活動をしている
- 6. 知人や近所の人の子どもの預かることがある
- 7. 子育てへの不安や悩みを持つ人の相談相手になっている
- 8. 子ども達に伝統芸能や遊びを教えている
- 9. その他()

生涯学習とは (問21~23)

自己の充実・啓発や生活の向上のため、生涯にわたり、いつでも、どこでも、自分に適した手段や方法を選びながら、自発的に行う学習をいいます。

問21. あなたは、生涯学習を、どのような方法で行っていますか。(はいくつでも)

- 1. 市が主催する講座や教室など
- 2. 市以外の公的機関が主催する講座や教室など
- 3. 民間のカルチャーセンターなどが主催する講座や教室など
- 4. 大学などの教育機関が主催する公開講座など
- 5. 地域でのサークル活動など

- 6. 個人的な活動
- 7. その他()
- 8. 生涯学習をしていない

問22. あなたは、生涯学習のための機会(講座や活動場所等)が十分だと思いますか。

学習機会は、行政、民間を問いません

- 1. 十分である
- 2. 十分ではないが、不足していない
- 3. 不足している
- 4. わからない

問23. あなたは、生涯学習で学んだことを他の人に教えていますか。

- 1. 地域の講座などで講師や助言者として活動している
- 2. サークル活動などを通じて他の人に教えている
- 3. 近所の人々に学んだことを教えている
- 4. 今は教えていないが今後、地域や社会に還元したい
- 5. 自己実現のためなので、教えていない
- 6. 現在は生涯学習に取り組んでいない

問24. あなたは、週に1回以上スポーツをしていますか。(ウォーキング、ラジオ体操含む)

- 1. はい
- 2. いいえ



問25. あなたは、この1年間に文化・芸術に触れる機会がありましたか。
(はいいくつでも)

1. 演劇やコンサート、絵画展などの鑑賞に出かけた
2. 美術や音楽などの芸術活動を行った
3. 舞踊や華道などの文化活動を行った
4. 歴史や伝統芸能などに親しんだ
5. 市内の文化財(史跡、博物館、古民家園、小原宿本陣、津久井城跡など)を見学した
6. テレビやパソコンなどで文化・芸術を鑑賞した
7. 文化・芸術に触れる機会がなかった

問26. あなたは、異なる国籍の市民と日常生活(行事などを含む)において定期的な交流を行っていますか。

1. ほとんど毎日
2. 週1~2回程度
3. 月1~2回程度
4. 年1~2回程度
5. ほとんど交流がないが、機会があれば交流したい
6. ほとんど交流がなく、今後も交流したくない

問27. あなたは、この1年間に、自分の人権を侵害されたと思ったことがありますか。

1. ある
(人権侵害の内容:)
2. ない

問28. 「ある」とお答えの方にお聞きします。人権を侵害された際にどのような対応をしましたか。(はいいくつでも)

1. 相手に対し、注意や話し合いなどをした
2. 友人、知人、職場の人などに相談した
3. 市や法務局など相談窓口にご相談した
(窓口名:)
4. 誰に相談してよいか分からず我慢した
5. 誰に相談しても解決できないと思って我慢した
6. その他()

問29. あなたは、家庭・地域・学校・職場などで、男女が平等だと思いますか。

1. はい
2. いいえ

問30. 「いいえ」とお答えの方にお聞きします。普段、あなたが感じているものに当てはまるものは、次のどれですか。

1. 男性が優遇されている
2. どちらかといえば男性が優遇されている
3. どちらかといえば女性が優遇されている
4. 女性が優遇されている

問31. あなたは、この1年間に平和に関する活動を行いましたか。(はいいくつでも)

1. 「市民平和のつどい」に参加
2. 平和祈念イベントや催しへの参加
3. 資料館等を訪れ知識を習得
4. 平和チャリティイベントへの参加や平和に関する募金活動への協力
5. その他()
6. 平和に関する活動は行ってない



【基本目標】

『やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市』

問32. あなたは、環境のために何かをしていますか。(はいいくつでも)

1. 冷暖房は、部屋の温度に気をつけて調節している
2. シャワーや水道は、こまめに止めながら使用している
3. 不要な明かりは、こまめに消している
4. テレビなどの主電源を、なるべく切るようにしている
5. 自転車、徒歩で行ける場所は、なるべくクルマを使わずに行くようにしている
6. 外出のとき、水筒を持ち歩くようにしている
7. 買い物をするときに、レジ袋は断るようにしている
8. 生ごみを出さないよう、調理のときに気をつけている
9. 環境に良い商品や、リサイクル品を使うようにしている
10. 旬のものを食べるように心がけている
11. 家族でエコな暮らしについて話し合ったことがある
12. 植木の水やりには、ためておいた雨水やお風呂の残り水を利用している
13. 地域の環境活動などに参加している
14. 環境をテーマにした講座やイベントに参加している

問33. あなたは、市内の道路や公園などの公共の場所が、清潔に保たれていると感じますか。

1. 清潔に保たれていると感じている
2. ごみは落ちていることもあるが、おおむね清潔に保たれていると感じている
3. ポイ捨てや不法投棄が見られ、やや汚れていると感じている
4. ポイ捨てや不法投棄が多く、汚れていると感じている

問34. あなたは、自然散策路や河川敷の親水広場など、市内の水辺やみどりに親しめる場所の数、広さについて満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. ふつう
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問35. あなたは、自然散策路や河川敷の親水広場など、市内の水辺やみどりに親しめる場所を利用していますか。

1. よく利用している
2. ときどき利用している
3. あまり利用していない
4. 利用していない

問36. あなたは、公園や街路樹、公共施設をはじめ、市街地のみどりの量について、満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. ふつう
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問37. あなたは、花やみどりなどを増やす緑化活動へ参加していますか。

1. いつも参加している
2. ときどき参加している
3. 参加していない

問38. あなたは、ご自宅でガーデニングや生垣など敷地内の緑化をしていますか。

1. している
2. していない

問39. あなたは、市内の公園の数、広さに満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. ふつう
4. どちらかといえば不満
5. 不満

【基本目標】

『活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市』

問40. あなたは、市街地（駅周辺、住宅、商業地）の景観に満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. ふつう
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問41. あなたは、市内の里山や湖、森林などの自然環境の景観に満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. ふつう
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問42. あなたは、お住まいの地域や最寄駅周辺で以下の用事を済ますことができますか。（はいいくつでも）

1. 日常の買い物
2. 預金や現金の引き出し（ATMや銀行）
3. 住民票発行や福祉の手続きなどの市役所の用事
4. 知人や友人と集い、語り合う場（喫茶店や市のコミュニティ施設等）

お住まいの地域や最寄駅周辺での日常生活のなかで、足りないと思うものがあればご記入ください。

問43. 市内3か所の基地の存在が、まちづくりや日常生活において、支障があるとお考えですか。

1. 支障はない
2. あまり支障はない
3. ふつう
4. やや支障はある
5. 支障がある
6. わからない



【基本目標】

『市民とともに創る自立分権都市』

問44. あなたのお住まいの地域では、地域のまちづくりや課題解決を、地域住民主体で進められていると思いますか。

1. 進められている
2. ある程度は進められていると思う
3. あまり進められているとは思わない
4. 進められていない

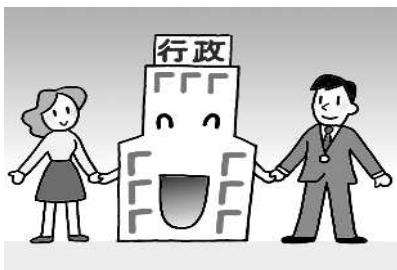
問45. あなたは、この1年間に自治会やこども会、PTA、消防団、自主防災隊などの地域活動や行事に参加したことがありますか。

1. よく参加している
2. とくとき参加している
3. あまり参加していない
4. まったく参加していない

問46. あなたは環境、教育、福祉などの市民活動（NPO活動）ボランティア活動に参加していますか。

1. 参加をしている
2. 以前参加していたが、現在はしていない
3. 参加していないが、機会があれば参加してみたい
4. 参加するつもりはない

問47. 「2」または「3」とお答えの方にお聞きします。どのようなきっかけがあれば、活動に参加されますか。



問48. あなたは、市役所や区役所、まちづくりセンター、総合事務所の窓口における手続きや、福祉や保健などの行政サービス全般について、必要なときに、必要な行政サービスを、身近で受けることができていると感じていますか。

1. はい
2. いいえ

問49. 「いいえ」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。

問50. 市では、「わたしの提案」「市政モニター」などの事業や、日常業務における各課の窓口で皆様のご意見を伺っています。あなたは、市に意見を言える機会や手段が十分だと思いますか。

1. 十分である
2. どちらかといえば十分
3. ふつう
4. どちらかといえば不足
5. 不足している

問51. あなたは、広報紙やホームページ、テレビやラジオなど、市からの情報提供の手段や内容に満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. ふつう
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問52. 「どちらかといえば不満」「不満」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。

市政一般について

『(仮称)相模原市自治基本条例の制定に向けて』
相模原市では、自治基本条例の制定に向けて検討しており、今後具体的な取組を展開していこうとしております。以下の設問は、その参考とさせていただくため、お聞きするものです。

自治基本条例とは (問53～57)

市民や市長、議員、市職員などのそれぞれの役割や責務をはじめ、自治を担保する制度や自治の基本的なルールを規定した条例をいいます。

問53. あなたは、「自治基本条例」を知っていましたか。

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問54. 「知っている」とお答えの方にお聞きします。自治基本条例を必要だと思いますか。

1. 必要
2. 必要ではない

問55. 「必要ではない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。

問56. 「必要」とお答えの方にお聞きします。「必要」だと思ふ理由は何ですか。(はいくつでも)

1. 市民のまちづくりへの参加が活発になる
2. 市民一人ひとりの自治の意識や市政運営に対する関心が高まる
3. 地域コミュニティにおける横のつながり(隣人関係等)が強くなる
4. 市民と行政の信頼関係が強くなる
5. 市政への意見が反映されやすくなる
6. 市民の知る権利がより担保される

問57. あなたが考える「自治の担い手」とは、次のどれですか。(はいくつでも)

1. 市民
2. 事業者・市民団体
3. 市長
4. 議会
5. 行政
6. 市内在勤者
7. 市内在学者
8. その他()

